

館活動は、地域に根差した取組を行っており全国的に見ても進んでいる。その役割を担ってきたのが公運審である。今回公民館事業を活性化し発展させるための一本化というが、各公運審を残し、全体を議論する場を新たにつくること

が公民館活動を発展させる。サポート会議では公運審の代わりとはならない」「担当は各地域に応じた活動の必要性を認めている。現状の体制を維持し、各公運審が集まって協議する場の設置を求める」「公民館活動は、地域福祉推進

の面からも評価ができる。各館の公運審の存在は重要であり、この改正では地域コミュニティ醸成機能を手放し、地域の担い手が見えなくなる可能性がある」との反対討論がありましたが、賛成多数で可決しました。

市政を問

平成26年第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています

市財政の改革こそ課題



自民党・市民クラブ 村松 俊武

<子育て支援>市長にお尋ねします。国分寺市は、待機児ゼロの考え方をお持ちですか。まちの人口を若返りさせ、若い人口を増やしていく。市長から「子育て環境をしっかりとつくっていききたいという基本方針です。ゼロを目指して女性の社会進出という観点からも待機児がないようにしていきます」との答弁でした。村松から保育の質を高めていくことが重要と指摘。

<教育ビジョン>今年度まとめる教育ビジョンの柱について質問。教育長は「子どもの生きる力を育む教育活動を推進することが重要」と答弁。村松は、前回学力の充実、クラブ活動の重要性、いじめをなくすなど取り上げたが、教育実践を、もっと市民にアピールしてほしいと訴えました。

<歴史のまち国分寺>文化財の保存のための施設計画は、郷土博物館の整備との位置づけですが、実施計画は、凍結となっています。将来の武蔵国分寺をどうしていくかという議論が必要だと述べました。また、今後の文化財の保存とくに無形文化財、例えば、おはやしを市として位置づけてはどうかと質問しました。現在は無形文化財の指定は1つもなくて、28年度に調査する予定との答弁でした。

<市財政の改革>再開発のスタートによって、国分寺がよくなっていく姿を市民に示せました。市民の表情から読みとれます。これからは、待機児ゼロで市長ががんばっている。保育の質も高めていく。教育の現場も努力している。住みよい、緑も残し、ぶんバスで交通の便のよくなる。まちが明るくなって、みんなの気持ちも豊かになって、歴史のまちもよくなる。総合的なレベルアップ、住みよいまちへの方向性を是非と、市長に求めました。井澤市長から「国分寺市を元気にしたい。国分寺市にはいいものがたくさんある。国分寺市はこれから発展する可能性が一番高い。そういうものをアピールしていきたい」と熱く語られました。村松は、みんなが読みたくなる市報の改善も求めました。そして、市財政の改革こそ課題だと訴えました。

安心なまちづくりは小さな声を聴くことから



公明党 さの 久美子

1. 安全・安心のまちづくりについて

(1)「黄色いハンカチ作戦について」災害時「我が家は大丈夫」という目印として、道路から見える場所に黄色いハンカチを掲げるしくみ。短

時間で「安否確認」ができる効果的方法。共助の仕組みとして、災害時要援護者安否確認に取り入れてはかがか。市)検討してまいりたい。

(2)子育てファミリー向け防災ハンドブック読み手に配慮した大きさ、色刷りにすべき。活用法は。市) 保育所、親子ひろば、児童館、HP等で活用し、防災教育等に展開していきたい。

(3)視覚障がい者用ラジオについて 視覚障がい者の大事な情報入手手段である「テレビを聴けるラジオ」を日常生活用具給付事業指定品に追加すべきではないか。市) 指定品は来年度見直しをしていくため、その中で検討したい。

(4)市民防災まちづくり学校について 防災分野の女性リーダーを輩出するためのカリキュラムを加えるべき。受講者への配慮として、出席しやすい体制を。市) 来年度、考えていきたい。

2. ペアレントメンターについて

自閉症や発達障がいの子どもの持つ親への支援策。発達障がい児を育てた経験のある親が相談を受ける事業を市としても取り組むべき。市) ペアレントメンター養成研修の紹介などの窓口になるように、今後事業展開をしていきたい。

3. 認知症対策について

(1)認知症高齢者やその家族、地域住民が集える認知症カフェの来年度設置を求める。市) 実現にむけ、実務的な検討をしていきたい。

市長) 前向きに検討していきたい。

(2)認知症予防について 健康な歯の持ち主は認知症になる確率が低い。市の成人歯科検診とリンクさせて周知すべき。市) 重要な視点。歯科検診チラシの改良やHPのリンクも実施したい。

(3)去年は小学校1校で認知症サポーター養成講座が開催された。今後の展開予定は。教育長) 今年度も同じ学校で予定している。この事業が広がるよう支援していきたい。土曜日の授業公開等で親子で受ける授業としてもよいと思う。

市長の政治姿勢について今後の重点目標は



自民党・市民クラブ 須崎 宏

問)市長の政治姿勢について今後の重点目標は。市長) 国分寺駅北口再開発、清掃施設、道路の問題、福祉面において高齢化への医療費対応、子供を産み育てやすい環境、また機構改革等を長期総合計画に盛り込み、元気なまちを全国にアピールできる国分寺をしっかりとつくっていく。

問) 御意見箱の対応について、内容は直接市長が読まれるのか。部長) 政策経営課が1週間程度で取りまとめ市長に報告した後、担当課で対応している状況。

問) 史跡公園整備について現在の進捗状況は。農地の追加指定と相続関係の買収について伺う。

部長) 追加指定について東山道武蔵路が通っている場所では湧水もあり、道路構造面、土木技術面でも重要な構造のようで、学術的な評価の確認が出来たら、追加指定について文化財審議

会の意見等を伺い詳細な検討に入る予定。

問) 相続関係の土地の買収について。史跡指定地内の農地について相続が発生した場合、買収は文化庁の別枠で取り扱うということになっているがこの確認でよろしいか。

部長) 文化庁とはそういう話になっている。

問) 文化財について長屋門の改修工事の進捗状況と天平メニュー、旧花沢橋の鋼材について。

部長) 非常に手続等が遅れており御心配をおかけしている。平成28年度までの工事を予定しており、その工期内でその部分を取り戻していく。天平メニューについて市内に残された貴重な赤米を国分寺ブランド米として栽培していきたい。旧花沢橋鋼材については湧水園内に残していく。

問) 野川及び国3・4・11号線の進捗状況は。部長) 野川整備促進に東京都と検討している。

3・4・11号線について27年度に地元の説明する機会を持つよう東京都に申し上げている状況。

問) ぶんバスの万葉・けやき合体コースは。

部長) 御指摘のルートも踏まえ、地元の方々の意見や関係機関の意見も聞き、方向性を検討する。

問) 防災井戸設置の進捗状況について。

部長) 御指摘をいただき必要性は十分認識し、平成28年度の長期総合計画に事業を組んでいく。

給食後の歯磨き、学童と放課後子どもプラン



政策市民会議国分寺 及川 妙子

1. 歯と口の健康について

5年前の議会で、小学校の給食後に歯磨き指導をしてほしいと初質問した。その時は国分寺市の小学生は他市に比べて虫歯が少なかった。現状は? → 1歳半、3歳は東京都の平均より少ないが、小・中学校は小2と小5を除いて多い。地域福祉計画の健康増進計画に(6)歯と口の健康で、給食後の歯磨きをすすめます。と原案にあったが、なぜなくなったのか? → 実現可能な計画にするため。歯磨きできない理由は蛇口の数がたりない、歯ブラシの管理、時間がないこと。全員やらなくてもやりたい子どもがやることは進めてほしい。豊島区では「歯と口腔の健康づくり推進条例」をつくり具体的な推進計画もある。特に学齢期と高齢期に力を入れている。歯が丈夫な人は足も衰えず、咀嚼回数が多いと脳が刺激されて、認知症のリスクが半分になる。高齢者についての取り組みは? → 成人歯科検診と在宅の要介護者は別途電話相談、直接の訪問もおこなっている。

2. 学童保育と放課後子どもプランについて

(1)学童保育の問題点は? → 希望者が増えて定員40名が56名、一人あたりに必要なスペース1.65㎡が1.08㎡であるが、場所がない。

学校の特別教室を使える見込みはあるのか? → 図書室については可能な部分はあるかなと思う。

(2)放課後子どもプランの問題点は? → 教室の確次ページに続く